

水稻V溝乾田直播栽培の生育状況（6/16現在）

【進捗状況】

農林総合研究所のV溝乾田直播見本栽培では、6月6日から入水を開始し、6月13日に一発除草剤（カウントダウンジャンボ）を散布しました。

【耕種概要】

- | | |
|--------|------------------------------|
| ①品種 | まっしぐら |
| ②播種床造成 | 秋季耕起・代かき |
| ③種子処理 | 種子消毒後に浸種し、
キヒゲンR 2フロアブル塗沫 |
| ④播種機 | V溝播種機 |
| ⑤播種日 | 5月11日～12日 |
| ⑥播種量 | 乾粳10kg/10a程度 |
| ⑦施肥量 | 窒素成分10kg/10a程度
(LP100を使用) |



写真1 6月16日現在の様子

【イネの生育状況】

イネの苗立ちは圃場内でのバラツキが大きく、苗立数が多い地点では200本/㎡を超えていますが、苗立数が少ない地点では80本/㎡となっています。草丈は20cm程度で、葉齢は2～2.5葉程度です。

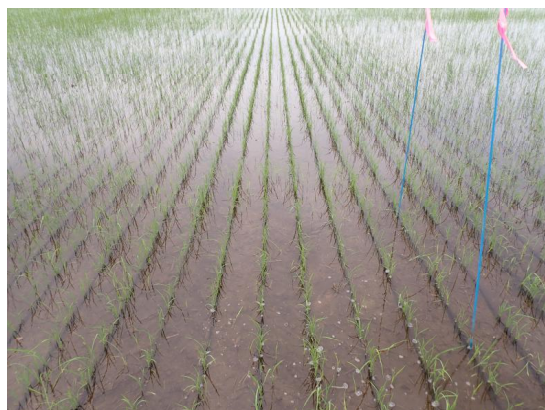


写真2 苗立数が200本/㎡程度の地点（左）と80本/㎡程度の地点

【栽培管理のポイント】

一発処理剤散布後5日間は湛水状態を保ち、散布後7日間は落水や掛け流しを行わないようにします。早い時期に田面が露出してしまうと除草効果が十分に発揮されなくなるので注意しましょう。

散布後7日以降は雑草の再発生をできるだけ抑えるため、少し深めの5～6cmの水深で管理してください。